

活動報告 (2007 年度)

- | 月 日 | 報告者および報告論題 |
|----------|---|
| 4月20日 | < 報 告 > 溝端佐登史氏 (京都大学)
「第3世界から見た体制転換：
The Consequences of the Russian Transformation on the Third World」 |
| | < 報 告 > 横川和徳氏 (京都大学経済研究所研修員)
「市場移行期ロシアにおける地方財政の構造変化」 |
| 5月8日 | < 報 告 > A. A. シュルス氏 (ロシア労働・社会関係アカデミー学長, 経済学
教授) 「ロシアにおける労働運動の動態」 |
| 5月19日 | < 報 告 > 徳永昌弘氏 (関西大学)
「書評：小俣利男著『ソ連・ロシアにおける工業の地域的展開』
および岩崎一郎著『中央アジア体制移行経済の制度分析』」 |
| | < 報 告 > 高田公氏 (京都大学大学院)
「書評：W. M. Megginson, <i>The Financial Economics of Privatization</i> 」 |
| 6月15日 | < 報 告 > 片桐俊浩氏 (法政大学・中央大学非常勤講師)
「ロシア核閉鎖都市の経済——過去・現在・未来」 |
| | < 報 告 > 徳永昌弘氏 (関西大学)
「『無主地』からエネルギー・センターへ——ロシア・アンガラ川流
域開発の史的展開」 |
| 9月28-29日 | 第26回 夏期研究大会 |
| 9月28日 | メインセッション：拡大 EU の比較政治経済学
司会：徳永昌弘氏 (関西大学) |
| | < 報 告 > 中村健吾氏 (大阪市立大学)
「EU, 帝国, 帝国主義——政体としての EU と東方拡大とを見る視角
について——」 |
| | < 報 告 > 堀林巧氏 (金沢大学)
「比較政治経済学とポスト共産主義」 |
| | < 報 告 > 溝端佐登史氏 (京都大学)
「国家化するロシアと帝国化する EU：エストニアとロシアから見る
EU 統合」 |
| | < 報 告 > 柳原剛司氏 (京都大学大学院)
「EU 統合と国家の役割の変容——ハンガリーの経験から——」 |
| | < コメント > 田口雅弘氏 (岡山大学)
柳原剛司氏 (京都大学大学院)
横川和徳氏 (京都大学経済研究所研修員) |

9月29日

第2セッション

司会兼コーディネーター：酒井正三郎氏（中央大学）

- < 報告 > 酒井正三郎氏（中央大学）
「中国『社会主義市場経済体制』の持続可能性——発展のメカニズムと矛盾——」
- < 報告 > 徐雅萍氏（中央大学大学院）
「垂直非統合型の半導体産業クラスター戦略」
- < 報告 > 張濤氏（中央大学大学院）
「中国における金融システム・アーキテクチャー——SOB 上場の影響——」

- < コメント > 小西豊氏（岐阜大学）
伏田寛範氏（京都大学大学院）

第3セッション：自由論題

司会：林裕明氏（島根県立大学）

- < 報告 > 山村涼氏（島根県立大学大学院）
「ジェンダー的視点からみたロシア女性の社会的位置づけ」
- < 報告 > 山口正彦氏（京都大学大学院）
「移行経済下における企業のイノベーション——ロシア・東欧家電産業のケースを通じて——」
- < 報告 > 高田公氏（京都大学大学院）
「中東欧諸国の金融システムの発展について」
- < 報告 > 里上三保子氏（京都大学大学院）
「ドイツ連邦共和国東部新5州の地域格差とその背景」
- < コメント > 家本博一氏（名古屋学院大学）
溝端佐登史氏（京都大学）
林裕明氏（島根県立大学）

12月26日

- < 報告 > 芦田文夫氏（立命館大学名誉教授）
『社会主義—市場経済』論と『市民社会』
- < 報告 > 林裕明氏（島根県立大学）
「ロシアの労働者の労働態度とインセンティブ」